

# 安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要

## 安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画の構成

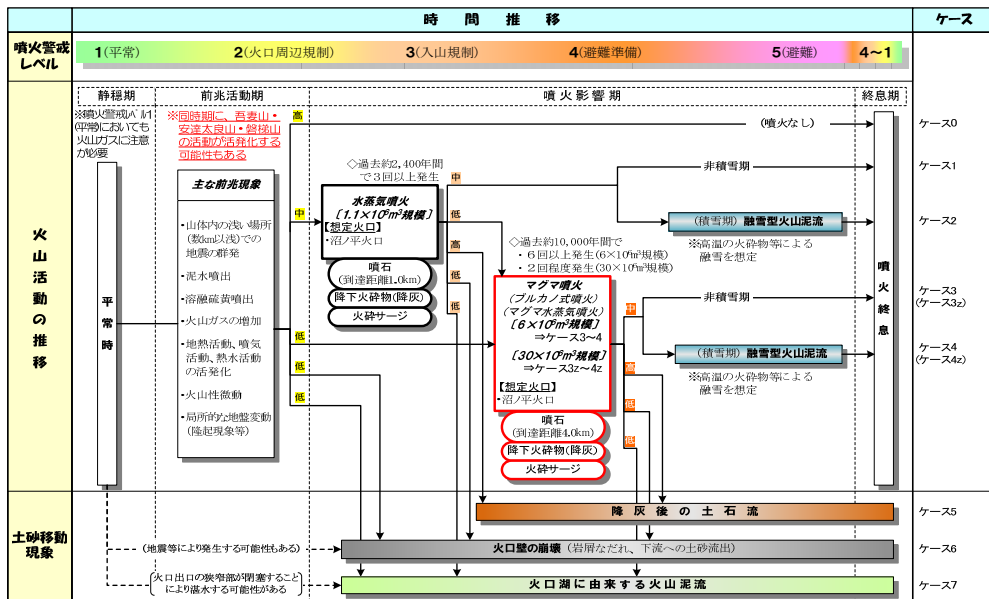
・計画の目的や前提条件等を記載した【基礎事項編】と緊急時に実施する減災対策について記載した【計画編】に分けてとりまとめています。

- 【基礎事項編】 ● 噴火シナリオ ● 想定される影響範囲  
 【計画編】 ● 対策方針 ● 緊急ハード・ソフト対策 ● 平常時からの準備事項

### 【基礎事項編】

#### ● 噴火シナリオ

- ・噴火シナリオとは、過去の噴火形態から対象火山で発生することが想定される現象とその規模、時間推移をまとめたものです。
- ・安達太良山では過去約1万年間の活動実績を整理し、噴火シナリオを作成しました。(計画 P.基-19) (噴火シナリオの作成に際し、気象庁の噴火警戒レベルと対応するよう考慮しています)

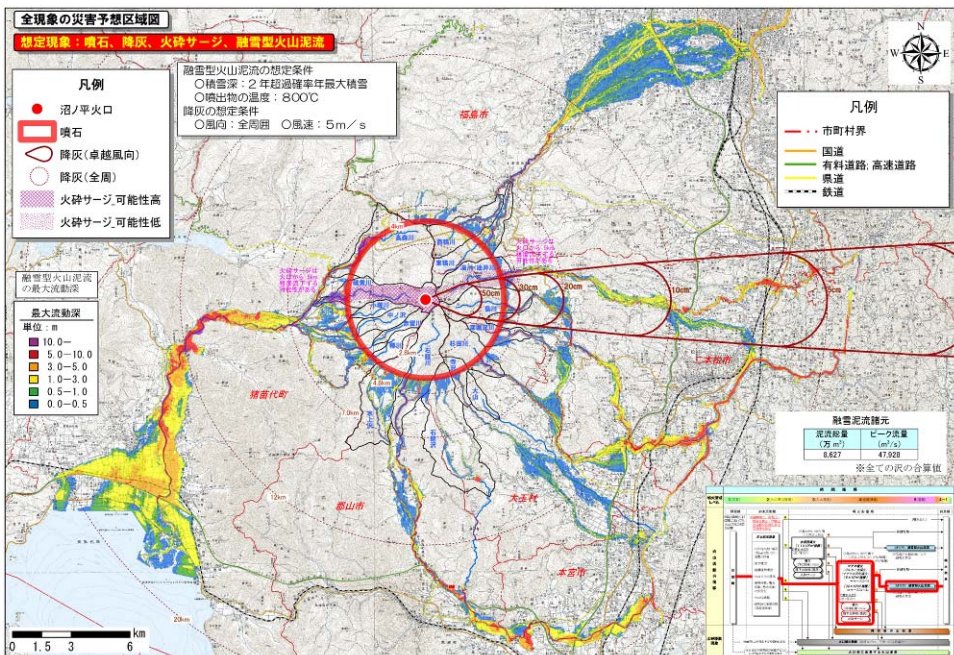


・安達太良山における過去1万年間の活動履歴に基づき発生頻度が高いと考えられるシナリオ。1万年より古い時代にはこれより大きな規模の噴火も発生している。  
 ・各現象の推移の可能性(高・中・低)は、「主な前兆現象」、「水蒸気噴火」、「マグマ噴火」の各段階において、相対的に示している。  
 ・ケース3、4は、マグマ噴火の最大規模(噴出量 $30 \times 10^6 \text{ m}^3$ )を想定したケース(参考)である。  
 ・火砕流、溶岩流は、少なくとも過去5万年以内で発生していないため、噴火シナリオからは除外している。

### 安達太良山の噴火シナリオ

#### ● 想定される影響範囲

- ・過去約1万年間に発生した現象に基づき設定した噴火シナリオより、想定される影響範囲について全8ケースの災害予想区域図を作成しました。(安達太良山火山災害予想区域図集 P.8)



安達太良山火山災害予想区域図の例(ケース4:積雪期のマグマ噴火の火山災害予想区域図)

## 【計 画 編】

### ● 対策方針

- ・想定した噴火シナリオのうち、限られた期間（仮に6ヶ月程度を想定）に緊急減災対策を実施するケースを抽出し、対策開始のタイミングや実施事項、対策実施期間等を決定しました。（計画 P.計-1）

### ● 緊急ハード・ソフト対策

- ・緊急ハード対策は、安達太良山の噴火時に想定される「融雪型火山泥流」と「降灰後の土石流」及び「火口湖に由来する火山泥流」に対して、流出土砂の捕捉、導流等を目的として可能な限り実施します。（計画 P.計-5）
- ・緊急ソフト対策は、避難対策支援のための情報提供、火山監視観測機器の緊急的な整備、リアルタイムハザードマップによる危険区域の想定、光ケーブルなどの情報通信網の整備、火山噴火時の緊急調査を行います。（計画 P.計-18）

#### 緊急ハード対策の実施事例



緊急除石（霧島山（新燃岳））



遠隔操作による堰堤施工（三宅島）



コンクリートブロックで嵩上げ（三宅島）



大型土嚢を配置した仮導流堤（三宅島）

#### 緊急ソフト対策の実施事例



ヘリによる調査（有珠山）



降灰量の調査（霧島山（新燃岳））



ワイヤセンサー 監視カメラ  
監視・観測機器の整備（霧島山（新燃岳））

### ● 平常時からの準備事項

- ・緊急減災対策を速やかに実施するために、平常時から各関係機関との調整や資機材の備蓄、火山防災ステーションの整備などを行います。（計画 P.計-33）
- ・地域の防災力、防災意識の向上のため、防災教育の支援等を推進するとともに、緊急時に関係機関や専門家、行政機関（防災担当者）のスムーズな連携・調整が図れるよう、火山防災協議会において『顔の見える関係』づくりを進めていきます。（計画 P.計-43）



防災教育の支援の例  
（出前授業の様子）

#### 吾妻山・安達太良山・磐梯山火山防災協議会

吾妻山、安達太良山、磐梯山について、県、関係市町村及び防災関係機関の平常時からの連携を確立し、噴火時等の避難対策等を共同で検討することにより、火山防災対策の推進を図るとともに、地域住民等の防災意識の向上を図ることを目的として平成26年11月7日に設置された。



火山防災協議会の構成